

社会教育課・再々修正案

資料3

提言目次案 12/15			
部	章	節	内容
1	はじめに（事務局）		
			・ これまでの経緯～目的～対象～「家庭教育」とは～「家庭教育と現代社会」
2	本編		
	1	子どものライフ・ステージと家庭の処方箋	
		1	乳幼児（鈴木委員）
		2	未就学児（鈴木委員）
		3	小学生（萩原委員）
		4	中学生（松本委員）
		5	高校生（松本委員）
		2	1～5 グラフィックを添付（大石委員）
			（はさみ込むコラム）（八木委員、熊谷委員）
		1	語りかけることの重要性
		2	聞くことは待つこと
		3	身近なエコライフを家族で話そう 済
	4	いのちを輝かせて生きる 済	
	5	ともに喜び ともに悲しむ 済	
3	提言 及びまとめ（熊谷委員）		
			・
付録、または資料（必要であれば			
			「現代の家庭」(解説、データ) 出典一覧
委員名簿（事務局）			
活動実績（事務局）			
条例（事務局）			

委員委嘱区分の
該当委員から指定

スマホ、コロナ、いじめ、新しい話題を追加
の扱い、大石委員の提案(表)の追加

400字程度に揃える

作業日程(案)

- 10月 本編(ライフステージ) 執筆（ファシリテーション記録の吟味を伴う）
第4回会議(下旬～翌月上旬)
- 11月 はじめに、提言(まとめ)、グラフィック
- 12月 第5回会議(15日)…全体の流れを確認
- 令和3年1月 ほぼ完成まで進める
- 2月 第6回会議 →3月または4月 教育委員会定例会で報告